



第50期
決算説明会

2021年9月22日(水)

本資料に記載した意見や予測は、作成日現在における弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません。
今後様々な要因によって、実際の業績や結果と異なる可能性があります。

*Financial Results Presentation
for the 50th term*

INDEX

- 1 | 第50期連結業績ハイライト
- 2 | 第50期トピックス
- 3 | 第51期の見通し・取組み
- 4 | 参考資料

第50期連結業績ハイライト

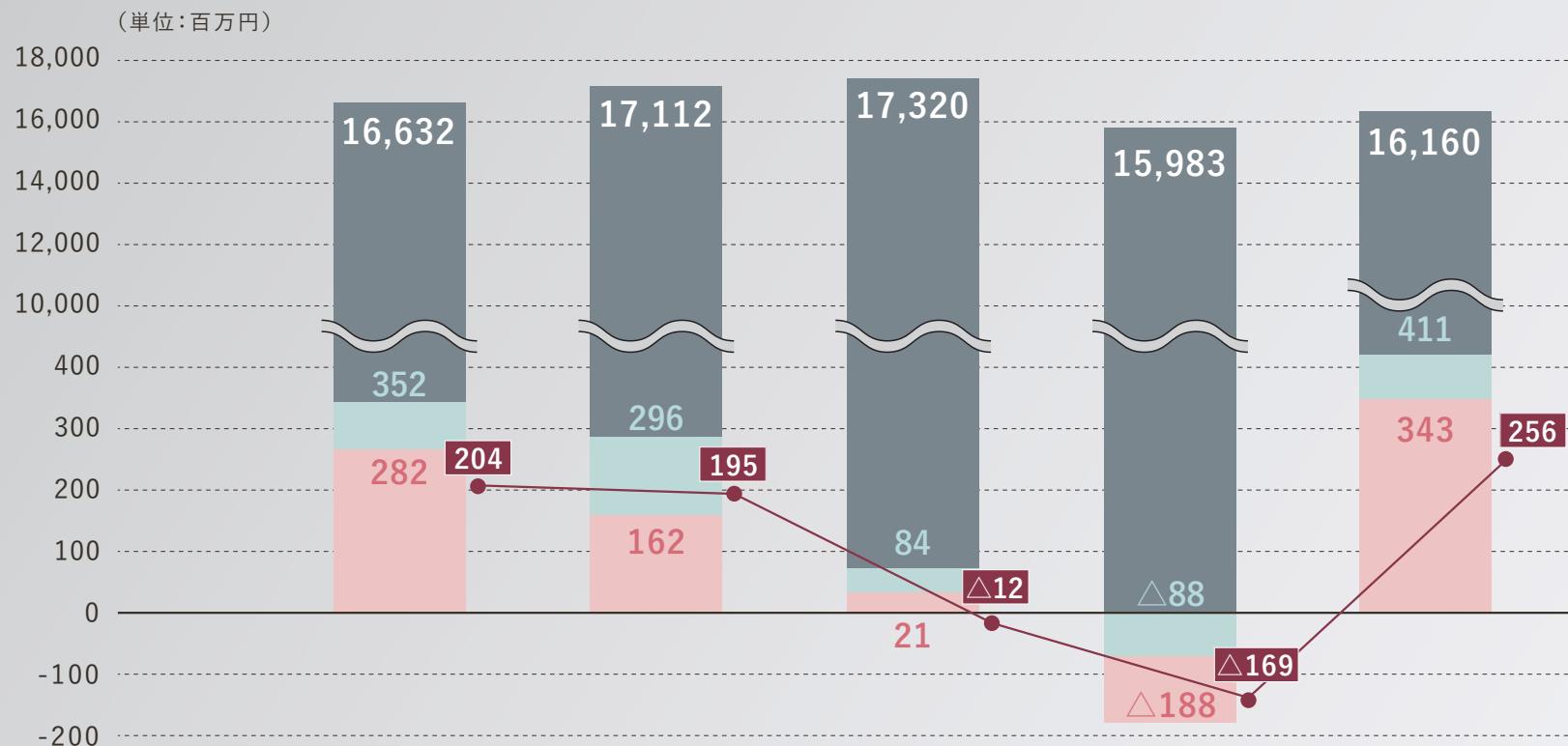
- 商業印刷は新型コロナウイルス感染症の影響で昨年に引き続き減少するも、年賀事業は増収
- 作業工程の見直し、最新設備の導入、委託先の見直しや内製化など徹底したコスト削減により増益

(単位:百万円)

	第49期	第50期	増 減	増減率
売上高	15,983	16,160	177	1.1%
営業利益又は営業損失(△)	△188	343	532	-
経常利益又は経常損失(△)	△88	411	499	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△169	256	426	-

第50期連結業績ハイライト

■ 売上高 ■ 営業利益
又は営業損失(△) ■ 経常利益
又は経常損失(△) ● 親会社株主に帰属する当期純利益又は
親会社株主に帰属する当期純損失(△)



第46期 第47期 第48期 第49期 第50期 (単位:百万円)

売上高	16,632	17,112	17,320	15,983	16,160
営業利益又は営業損失(△)	282	162	21	△188	343
経常利益又は経常損失(△)	352	296	84	△88	411
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	204	195	△12	△169	256

TOPIX①

新白石工場が本格稼働

老朽化に伴い建替え工事を行っておりました白石工場が2020年6月に完成し、同年10月に本格的に稼働いたしました。同工場は年賀状印刷事業を柱とする工場で、今回の新設に伴い導入した最新設備により作業工程の自動化、作業の効率化を図ったことで、経費の大幅な削減を実現することができました。

また、個人情報の保護のための万全のセキュリティ体制を施したほか、近年需要が増し当社が力を入れるコールセンター等のBPO事業について、大型案件にも対応できる設備を整えました。

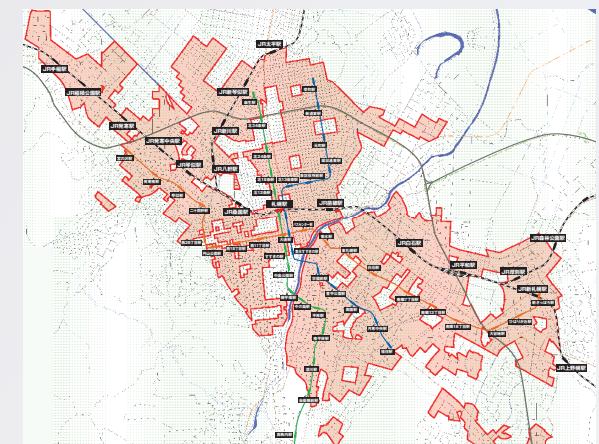


TOPIX②

一般向けWi-Fiサービス「ふりっぱーnet」の開始

当社は、2019年9月以降、地域BWA(Broadband Wireless Access:地域広域帯移動無線アクセス)システムの基地局整備をすすめており、2020年3月以降、札幌市が指定する市内10区の防災拠点41ヵ所に通信網を整備してまいりましたが、この通信インフラを活用し、2020年11月、札幌市内の一部でWi-Fiによるインターネット接続サービスの提供を開始いたしました。その後も対象エリア拡大に努め、現在では札幌市内50万強の世帯数をカバーするに至っております。

今後も対象エリア拡大と契約数の獲得により、ストックビジネスとして収益基盤の確保を目指します。



TOPIX③

BPO事業・物販事業の強化

年賀状のノウハウを活かし取組みを強化しているBPO事業では、顧客企業の需要増加の影響もあり、新白石工場を拠点としてコールセンターサービスやデータエントリーサービスを受注したほか、道内宿泊旅行の促進を目的として行われた「北海道いいトコいいモノ発見キャンペーン」等、各種キャンペーンの事務局業務を請け負いました。

また、物販事業としては、さっぽろオータムフェスト2020のインターネット通信販売の代行事業を受託したほか、当社WEBサイトやフリーペーパーを媒体とした、地方特産品の物販サービスにも注力いたしました。



TOPIX④

子会社の資本増強・事業展開

当社連結子会社である株式会社味香り戦略研究所では、本年1月に第三者割当増資を行い、財務体質の強化を行いました。7月には、他社との業務提携により共同開発した、食に関するDX支援サービス「FOODATA(フーデータ)」が提供開始となりました。このサービスは、食品に関するデータと消費者の行動・嗜好に関するデータを掛け合わせた分析が可能なツールで、主に食品企業の商品開発をサポートします。このサービスは、同社が長年培ってきた食品の味覚分析等に関する知見を活かしたサービスとなっています。

同社は、今後も事業に必要な資金を確保しつつ、企業や消費者のニーズを的確に捉えたサービスの展開を行ってまいります。



第51期連結業績予想

(単位:百万円)

	第50期 (実績)	第51期 (予想)	増 減	増減率
売上高	16,160	16,300	139	0.9%
営業利益	343	250	△93	△27.3%
経常利益	411	325	△86	△20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	256	210	△46	△18.0%

第51期の取組み

新たな事業領域の拡大

- 物販事業やBPO事業の更なる強化
- 市民向け地域BWA事業の拡大
- グループ会社による先を見据えた事業の展開
- 各自治体との連携による地方創生事業の強化

コスト削減による 収益性の向上

- 自社リソースを確保し、外注業務の削減・内製化
- 印刷作業工程の見直しや、AIソリューションの開発による作業工程のオートメーション化
- 不採算部門・事業の見直し

人財の確保・育成

- 社員のワークライフバランスを重視した体制作り
- デジタル人財をはじめとする専門分野における人財の確保・育成
- 人財定着のための職場環境作りの強化

デジタルトランス フォーメーション(DX)の推進

- 社内のペーパーレス化をはじめとするデジタル化の推進
- 各種アプリケーションの開発・WEB広告や動画制作などのデジタル販促の提案強化
- AIやRPAなどの技術の積極的導入

參 考 資 料

【参考資料】

連結損益計算書

(単位:百万円)

	第48期	第49期	第50期	対前期増減
売上高	17,320	15,983	16,160	177
営業利益又は営業損失(△)	21	△188	343	532
経常利益又は経常損失(△)	84	△88	411	499
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△12	△169	256	426

【参考資料】

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	第49期	第50期	増減
現金及び預金	1,602	1,653	50
その他	2,207	2,232	24
流動資産合計	3,810	3,885	74
有形固定資産	4,173	3,876	△297
その他	1,564	1,625	60
固定資産合計	5,737	5,501	△236
繰延資産合計	2	0	△1
資産合計	9,550	9,387	△163

	第49期	第50期	増減
流動負債	4,155	3,959	△195
固定負債	3,305	3,030	△275
負債合計	7,460	6,989	△470
資本金	411	411	—
利益剰余金	982	1,178	196
その他	695	806	111
純資産合計	2,089	2,397	307
負債純資産合計	9,550	9,387	△163

【参考資料】

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第49期	第50期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	723	1,436	713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,163	△183	980
財務活動によるキャッシュ・フロー	810	△1,202	△2,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	370	50	△319
現金及び現金同等物の期首残高	1,232	1,602	370
現金及び現金同等物の期末残高	1,602	1,653	50

【参考資料】

損益計算書(個別)

(単位:百万円)

	第48期	第49期	第50期	対前期増減
売上高	17,016	15,694	15,870	176
営業利益又は営業損失(△)	△3	△200	323	524
経常利益又は経常損失(△)	68	△97	391	488
当期純利益又は 当期純損失(△)	19	△171	238	409

【参考資料】

貸借対照表(個別)

(単位:百万円)

	第49期	第50期	増減
現金及び預金	1,429	1,424	△4
その他	2,170	2,167	△2
流動資産合計	3,599	3,591	△7
有形固定資産	4,171	3,870	△300
その他	1,625	1,640	14
固定資産合計	5,797	5,511	△286
繰延資産合計	2	0	△1
資産合計	9,399	9,103	△295

	第49期	第50期	増減
流動負債	4,125	3,906	△218
固定負債	3,194	2,886	△308
負債合計	7,319	6,792	△526
資本金	411	411	—
利益剰余金	971	1,150	178
その他	696	748	52
純資産合計	2,079	2,310	231
負債純資産合計	9,399	9,103	△295